

第16回 全日本民医連  
共同組織活動  
交流集会 in 岡山

1日目 9月29日(日) 13:30~2:30  
記念ライブ/松元ヒロ氏(元ニュースペーパー)

2日目 9月30日(月) 9:00~12:30  
特別分科会/上映会(ハンセン病ドキュメンタリー映画)

全体会場/岡山シンフォニーホール

# おかやま民医連

MIN-IREN

発行 岡山県民主医療機関連合会

岡山市北区下伊福西町1-53  
岡山県民主会館3F  
TEL (086) 214-3911

2024年6月号 No.369

URL: <http://www.okayama-min-iren.org>

あんどう まさと  
安藤 将人 (岡山協立病院・看護師)

座右の銘 「縁の下の力持ち」



まず目指すべき目標は「クリニカルラダーにおけるレベルIIを目指しつつ、自身のできることをしっかりと行う」です。大きな目標を目指す前に、まず一つひとつ自身の役割をしっかりと把握したいです。その上で目の前の課題を解決し、先輩方からの指導もしっかりと受け、患者様に安心してもらえるケアを行える看護師になりたいと思います。

うだか りょうへい  
宇高 陵平 (林道倫精神科神経科病院・作業療法士)

座右の銘 「なんとかなる」



この4月より林道倫精神科神経科病院に入職した宇高です。作業療法を通して患者さんに笑顔になっていただき、安心感をお届けできるようになることが目標です。わからないことが多く、ご迷惑をおかけすることもあると思いますが、少しでも早く一人前になれるように頑張りますので、よろしくお願いします。

## 新入職員からのメッセージ

きたぐち あきつぐ  
北口 晃嗣 (岡山協立病院・初期研修医)

座右の銘 「無事是名馬」



座右の銘の通り、心身共に一定の能力を維持しつつ、後期研修、また科の選択につなげられるように習熟度を上げていきたいと思っています。この2年間、特に最初にご迷惑をお掛けすると思いますが、患者さんは勿論、病院職員の方々からも学ばせて頂きたいと思っています。ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

こん たかあき  
昆 堯明 (水島協同病院・初期研修医)

座右の銘 「凡事徹底」



今はまだ未熟ですが、患者さんの悩みに真摯に寄り添い、安心感を持っていただけるような医師を目指しています。また、治療後のことについて、介護問題、金銭問題、家庭環境なども適切にアドバイスできるよう努めていきたいです。失敗を恐れず挑戦して、毎日成長を実感しながら働くことを心がけています。よろしくお願い申し上げます。

のりつべ まなみ  
乗次 愛美 (水島協同病院・臨床検査技師)

座右の銘 「日進月歩」



自分が携わる検査の結果が臨床での診断や治療方針の決定に直結するという責任の大きさを自覚し、一つひとつ丁寧に業務を行っていきたくです。そのためまずは業務を覚え、必要なスキルを身につけ、正しい検査結果をお伝えできるようになりたいです。そして患者さんの幸せに貢献でき、信頼される医療従事者になりたいです。

ふじい まな  
藤井 茉奈 (さくら苑リハビリセンター・作業療法士)

座右の銘 「継続は力なり」



笑顔を絶やさず、利用者様にしっかりと寄り添うことができる作業療法士を目指すために、日々学んで少しでも早く戦力になりたいです。利用者様がありのままに暮らせるよう、お一人おひとりに合った作業療法プログラムを考えてリハビリをサポートしたいです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いします。

### 点滴

病院経営は大変厳しい時代に突入している。「いや昔の方が厳しかったよ！」と、いう先輩方の声はさぞおき、年度の予算をつくりながら、私は何かと戦っているような感覚に陥ってしまった。誰と？ 厚労省？ 近隣病院？ 職員？ 患者さん？ ▼病院経営は複雑にみえるが実に単純で、収益を伸ばしたければ患者さんを増やすことが大前提だ。質やホスピタリティを向上させ患者さんを選んでもらえばいい。時に国の恩恵を乗りこなし、有利な診療報酬を算定するため適正な人員体制を整えながら、収益につながる病床機能を選択する。固定資産は費用対効果を考慮して購入すればいいし、DPC係数を分析して強みを強化したり弱みを補強すればOK等々。▼そんな簡単なことの実践が大変難しいことは、日本病院会が実施している病院経営定期調査でも明らかだ。2023年6月時点の調査において1168の回答病院のうち、実に65.7%が経常利益で赤字(コロナ補助金除く)となっている。労働集約型産業かつ多くの専門職が働く病院は他産業から比べても特殊であり、その集団で目的地を共有し到達するには何が必要なのだろう。▼中竹竜一著「ウイニングカルチャー」では、勝ち残る企業は競合と闘っているのではなく、自分たちの組織文化、理念、信条を問い直し、自分たちと戦っている企業だと述べている。▼哲学者のニーチェは「あなたが出会う最悪の敵はいつもあなた自身であるだろう」と言った。▼それっぽい言葉をググるとすぐに出てきたこの言葉。今も昔も変わらないなと思った金曜日の夜だった。(K)

倉敷医療生活協同組合

医師団会議 5年ぶり開催

〜地域医療の未来を考える〜

2月17日(土)、倉敷国際ホテルにて倉敷医療生活協同組合医師団会議を開催しました。コロナ禍で約5年ぶりの開催となりましたが、法人内に勤務する医師、部・次長、講演に参加した各職場長を含め、総勢56名が会場に集いました。

講演では産業医科大学医学部公衆衛生学教室の松田晋哉教授をお呼びし、「2040年に向けた中小病院の役割」をテーマに、

「これからどういった医療活動をしていくべきかを明確に理解できた」などの声が寄せられました。その他、各病院からの活動報告や、水島協同病院で初期研修を終えた3名の医師からの近況報告、会議終了後は夕食懇親会もおこなわれました。

今後の地域の変化を読み、医療・介護事業の展開を考えるよい機会となりました。

笠原 夕季 (水島協同病院 医局事務課長)



大勢の参加者が集い、有意義な会議に



松田教授による講演

4年ぶりの現地開催

中四国地協 社保平和活動交流集会在山口

3月15日(金)〜16日(土)、徳山市での交流集会に参加し、人間魚雷回天について学びました。周南市の回天記念館や訓練基地の跡地を見学し、回天を考案した方のことや構造・性能などを知り、実寸大のレプリカや戦没した方の写真や遺品・遺書などを実際に見ることができました。跡地などを自分の目で見ることで、話を聞くだけではわからない多くのものを学びました。また、その時に何があったかの事実や歴史を学ぶことの大切さも感じることができました。



回天一型 実寸大のレプリカ(全長14.75m、胴体の直径は1m)



全国で唯一残っている回天訓練基地跡



整備工場と訓練基地を結ぶトンネル(当時のまま)

一色 佳栄 (岡山中央福祉会 中野けんせいえん)

岡山医療生活協同組合

第3回市民公開講座 がんを知ろう〜治療と生活を支える〜

岡山協立病院では、地域住民を対象に3月23日(土)「第3回市民公開講座」が「がんを知ろう〜治療と生活を支える〜」を開催しました。当日は疼痛治療科の竹谷園生医師と肺がん患者会ライオンハート岡山代表の田中勇氏の講演があり、パネルディスカッションで患者の生活を支えるサポートについて共有しました。

「がんになったとしても、相談できる場所があることを知り、参加してよかった」「生き方について考える上で参考になり、力を得ました」という感想が寄せられました。

これからも地域に根ざした病院として、様々な情報をお伝えしてまいります。

三上 智子 (岡山協立病院 地域医療連携センター)



会場・リモート合わせて114人が参加

4月号 読者カードより

患者さんの不安に寄り添い、メイクを通して『本当になりたい自分へ』と、前向きになれる働きかけが病院内で行われていること。ステキだなと思いました。 E・O(林道倫精神科神経科病院)

先輩職員の写真が多くあって、各職場からのメッセージも掲載されていて、親しみがあっていいなと思いました。 H・I(林道倫精神科神経科病院)

新しい仲間を迎えて、法人・事業所が華やかになりました。新しい仲間を新しい「強み」として県連が盛り上げてくれるといいと思いました。 黒ひげ(林道倫精神科神経科病院)

中四国地協 医療系学生のつどい 2024 in 山口

地域医療の夜明け〜学ぶ門にはきたる〜

5/18(土)〜19(日) 参加者101名

テーマ：地域医療(山口県における地域医療の現状を学ぶ)

- ★まち歩きFW(山陽小野田市)
★学習講演①「まち医者のお仕事」 廣田勝弘 医師
★学習講演②「あきらめない医療と看護の実践」 友永理香 看護師



【学生の感想】

- ★他大学・他学部の学生や医師・歯科医師と交流でき、貴重な体験となった。
★廣田先生の考える「まち医者」としての誇り・こだわりを持って仕事をする姿勢に感動した。
★「これぞ民医連!」という「諦めず、頼りにされる医療のあり方」の講演がよかった。
★FWで大学の座学だけでは得られないものを得ることができた。
★今まで知らなかったSDHの重要性について学べてよかった。

【目的】

- ①中四国医系学生と交流する
②新歓期に新入生と民医連をつなぐ
③医療、社会について学ぶ
④医療者像、医療観を深める
⑤民医連・医療生活協を知る

